



ロータリーは機会の扉を開く

国際ロータリー第2670地区 徳島第2分区

美馬ロータリークラブ

2020/08/25 vol.8

◇ビジター	おいでません		
◇メーカーキャップ	おりません		
◇出席状況	総会員数：25名	出席者数：16名	
	出席率 64.0%	修正出席率	---%

■ 会長の時間

今晚は、ロータリー理念を確立したアーサー・シェルドンについてお話します。

シェルドンは、ロータリーの第2モットー「最もよく奉仕する者、最も多く報われる」の作者であり、職業奉仕の提唱者にして、日本のロータリアンには信奉者が多い人です。

シェルドンは、ロータリーの生みの親であり設計者であるポール・ハリスや全米ロータリークラブ連合会を立ち上げ国際ロータリーの発展に寄与したチェスレー・ペリーと並んでロータリー草創期を代表する指導者です。

「ロータリーの哲学」という論文の中で、ロータリーの「サービス」の意義を論じています。

「Service」と「Profit」とは、原因と結果の関係にあると言っています。「Service」が先で、「Profit」はその結果であるということです。原因としての「Service」は、「正しい質」「正しい量」「正しい行動様式」で構成されており、結果としての「Profit」は、仲間からの尊敬や自尊心の満足といった精神的な充実感と物質的・金銭的な利益の両面を意味している。

シェルドンの言う「正しい質」「正しい量」「正しい行動様式」とは、「高い品質、適正な価格」「豊富な品揃え」「経営者・従業員の適切な接客態度」「公正な広告」「豊富な商品知識、高度な専門知識」「十分なアフター・サービス」といった、現代企業が顧客の信頼を得るのに必須の「サービス」と異なりません。

ロータリー理念と経営理念は相通じるものです。

■ 幹事報告

当クラブ8月18日週報を回覧しています。篠原ガバナーの公式訪問例会記念写真をトレイに入れてあります。9月19日開催予定の米山奨学会協議会は延期となりました。

■ 委員会報告

森会員・・脇町RC古川会員から8月27日ZOOM例会のお誘いがありました。メーカーキャップ感覚で参加してはいかがでしょうか。例会に参加するためのID等をメールで送ります。

北室会員・・プログラム委員会です。9月例会の卓話者は、1日が澤田会員、8日が重田会員、15日が田中会員、22日が休会で、29日が谷会員です。

■ 卓話 伊庭雅俊会員（つるぎ木材加工協同組合）

私の会社は、平成21年2月に木材加工を目的として設立した会社で、山の資源を生かし、木材の100%活用を目指してエコサイクルに取り組むことを理念としています。21年8月にチップ工場を、平成23年4月にベレット工場を稼働し、平成24年6月に素材生産事業を開始、平成26年2月に選木工場を稼働、同年4月に苗木精算・造林事業を開始して少しずつ理念の実現を図っております。



木質ペレットは木材を原料とした新しい燃料エネルギーで、原料は間伐材などが使われ、乾燥→破碎→圧縮した小粒状の固形燃料で、石油などの化石燃料を使用しない分だけ二酸化炭素削減ができるエネルギーです。

ビニールハウスの温風機やアロエース（冷暖房機）用のに使用されています。

主材や間伐材は、A材（建築資材）、B材（合板の原料）やC材（チップの原料）として加工されたり、バーク（樹皮）は苗床として使用し、すべて木材がエコサイクルされています。

伐採した山には、種から育てた苗木を鹿などの畜害と闘いながら植林（造林）を行っており、今後とも林業に従事して、森林再生と林業の活性化を目指していきたいと考えております。

■ スマイルボックス

ありません。

■ 次回例会案内

2020年9月1日（火） 19:00より 定例会場

卓話予定：澤田篤也会員

■ 欠席会員

澤田会員、田村会員、辻会員、戸島会員、西谷会員、林会員、東谷会員、三好(博)会員、山内会員

※ メーキャップをお願いします。